



フジタが目黒に やって来た

— 作品収集のあゆみ —

Fujita Came to Meguro
How We Reached "Here & Now" of MMAT

コレクション | Anatomy of
解体新書I | the Museum
Collection I

2022

10/8 sat

11/20 sun

目黒区美術館

午前10時 - 午後6時 (入館は午後5時30分まで)

月曜休館、ただし10月10日(月・祝)は開館、10月11日(火)は休館

一般700(550)円、大高生・65歳以上550(400)円、中学生以下無料

*障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

*目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります
(他の割引との併用はできません)

*11月15日(火)は開館35周年記念日のため、目黒区在住、在勤、在学の方は観覧料が無料になります

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる可能性があります。
ご来館時の注意事項等も含め、開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。

図版上から 藤田嗣治《動物群》1924年、油彩・キャンバス、1981年度購入

©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022, E4803

秋岡芳夫《赤い家》1948年、着彩・紙、2018年度寄贈



Meguro
Museum of
Art, Tokyo

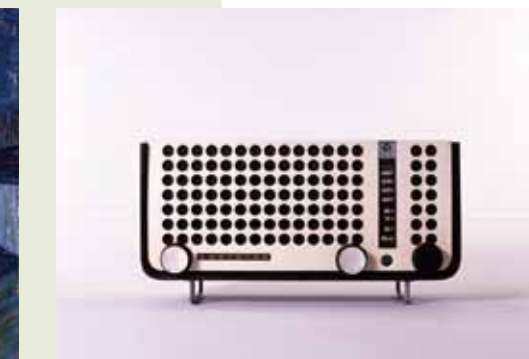


フジタが目黒にやって来た

— 作品収集のあゆみ —



目黒区美術館は開館に先立つ1981年度より、海外へ留学したり国際的に活躍した作家、素材や技法の特質をよく示す作品を中心に、日本の近代から現代に至る美術の歴史を俯瞰できるコレクションを目指して作品収集を行ってきました。最初の収蔵作品となった藤田嗣治《動物群》を皮切りに、数多くの日本人作家の秀作を収蔵し、今日2400点余を数えるに至っています。1987年の開館以後は、美術館活動に応じて収集の傾向も次第に変化していきました。例えば、目黒にゆかりのある作家の作品は、展覧会の開催を通じて関係者の厚意による寄贈もありその数を増やし、現在では美術館を特徴づける主要なコレクションとなっています。さらに近年は、インテリアショップやデザイナーが多い目黒の地域的特性をとらえ、生活芸術の分野に関連する作品の収蔵も射程に入りました。本展では、開館前から現在に至る当館のコレクション形成のあゆみを振り返りながら、作品収集の過程や取得時のエピソード、さらには取得資金の仕組みまで、普段なかなか見ることのできない美術館の舞台裏をご紹介します。



関連催事

大人のための美術カフェ (当日先着順)

本展の見どころや、展覧会準備のエピソードなどを気軽な雰囲気でお話します。

ナビゲーター：当館学芸員

日時：2022年11月12日(土) 14:00~14:30

場所：目黒区美術館 1階ワークショップ室

定員：35名程度

参加費：無料 ※ただし当日有効の観覧券が必要です。

※新型コロナウイルスの感染の拡大状況によっては、中止になる可能性があります。

当館ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

その他、会期中に

ミュージアムコンサートの開催を予定しています。

詳細は当館ホームページでお知らせします。



詳細マップは
こちらから



□ JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分 □ 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 □ 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分 *目黒区民センター隣接 *当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。*お車でお越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場(有料)をご利用ください。

目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

tel.03-3714-1201

<https://www.mmat.jp>

★メルマガ会員募集中

<https://service.sugumail.com/mmat/>

1. 高島野十郎《百合とヴァイオリン》1921-26年頃、油彩・キャンパス、1989年度購入
2. 飯田善國《目黒川夜景2》1954-55年、油彩・キャンパス、1988年度寄贈
3. 秋岡芳夫、KAK+佐藤電気産業株式会社《クライスラーキャビネットMS-200》1956年、木、プラスチック、金属、2018年度寄贈
4. 古茂田守介《踊り子達》1946年、油彩・キャンパス、1990年度寄贈
5. 武内鶴之助《冬の小川》1918年、パステル・紙、2018年度寄贈
6. 鈴木省三《森II》1983年、油彩、オイルスティック・ゴムボード、2018年度寄贈